

全国農政連推薦・農政連公認
参議院議員藤木しんやの

永田町でも「百姓宣言」

「農家の声を国政に！」

【農家：JAのために全力を尽くします】

このたびの第26回参議院議員通常選挙におきまして、2期目の当選を果たすことができました。また、熊本県農業者政治連盟等が推薦した松村祥史候補が4期目の当選を果たすことができました。

今回の選挙戦では、1期目の6年間一貫して取り組んできました「食料安全保障の強化」に向け、大きく農政を変えるチャンスを迎えるなか、農家・JAが今の厳しい状況を打破する一票を私に託してほしいと徹底的に訴えさせていただきました。選挙は終了しましたが農業者、JAをめぐる情勢は、コロナの猛威が続いており、食料や生産資材の海外依存によるリスクや多発する豪雨等、自然災害の脅威は続いております。

これから召集される臨時国会にて、まずは、この選挙期間中も悲痛な声を多くいただいた肥料・飼料などの生産資材の価格高騰対策に真っ先に取り組み、離農者が出るのではないような厚い支援対策の確保に取り組んでまいります。そのうえで、今回の選挙戦で一番私が訴えてきました、農家が再生

産できる価格形成の仕組みづくりに取り組んでまいります。

今後は食料・農業・農村基本法の見直しなど、大きな政策転換に取り組むこととなりますが、そのなかで、国民の理解を十分得て、農家の手取りを適正に確保し、農家戸数の増加を図る持続可能な農業・農村づくりの実現に向け、我が国の将来を担う子供たちを含め、国民への食料安定供給も実現していきます。

皆さまから私に託していただいた大きな力を背負って、これから6年間、「藤木がいてくれてよかった」と思っていただけのように、「農家の声を国政に！」をさらに進化し、全身全霊で取り組んでまいります。



▲選挙戦での一コマ

全国・農政連推薦

参議院議員山田としおの

農政問題に斬り込む

地域農業の振興に向けた地域とJAグループが一体となった
取り組みに感動しました

米価が低迷しています。在庫はかつてのように大きなものではありませんが、200万トン程度と見込まれており、引き続き米価の低迷が懸念されます。今年産の最大の課題は、コメの需給調整の関係者の認識を統一していくことです。「国がコメの需給に大きく関与するということをやらない」という動きが強まることも懸念されます。

こうした懸念を抱きながら、5月末に、ふるさとの富山に帰り、北陸新幹線の車窓から雪を背負った立山や北アルプスの山々を眺め、その景観に驚きました。雪渓に包まれた山々から平野に向かって、田んぼが真っ黄色の布団に包まれるように輝いていました。その黄色の地帯から平野に下った地帯は、一面緑の稲苗が風になびいていました。そして、平野から高速道路や新幹線を超えて海に向かう田んぼは、整然と長い「うね」が作られ、芽を出しているのは大豆だといえます。

この形の景観が山から海までの富山平野を横断しています。農業者も、



▲藤木しんや出陣式にて

営農組合も、JAも、自治体も、協議してこの形を作り上げているのだといえます。改めて、JAの営農指導員にお聞きしたところ、県内統一して、こうした形を作り上げているわけではありませんが、今年はこのように形になったらしく、山々と美しい富山平野と長い歴史を経た経験が、集落や市町村、農業者などで共有されていることを学ばせていただきました。感動的でした。何としても、コメの需給均衡とコメ以外の作物への転換、必要な所得を実現できる規模の拡大やコスト削減が求められるのであって、そのために必要な政策を地域と農業者と行政とJAが一体となって知恵と努力で確立しましょう。